

経済・港湾委員会行政視察について(案)

香港特別行政区・深圳市・義烏市・上海市

1 視察期間

平成25年10月22日(火)～25日(金)

2 視察先

中華人民共和国

香港特別行政区(22日)、深圳市(23日)、義烏市(24日)、上海市(25日)

3 視察目的

(1) 香港特別行政区

特別行政区となっており、他の地方行政機関とは異なる香港特別行政区政府が設置され、独自の法律が適用されるなど大幅な自治権を持つ地域である。また、中国における港湾都市として上海に次ぐ規模を誇る香港港を有している。香港経済の特徴は自由貿易と低い税率であり、国際金融センターとなっている。これらの現状、実態を視察する。

(2) 深圳市

昭和54年に深圳市ほか3地域が、中国における経済特区に指定されている。港湾都市として、中国では上海港、香港港に次ぐ規模を誇る深圳港を有している。海港と空港における連携を強化し、深圳と香港の空港の相互協力を加速化、水上運輸サービス分野についても強化し、世界レベルの港をつくり上げている。世界の資源配分機能を目指した物流センターを建設し、アジア・太平洋地区で最も重要な複合運送センターとサプライチェーン管理センターとなっている。これらの現状、実態を視察する。

(3) 義烏市

中国の日用品の卸売市場が多く立地し、中国東部最大級の物流基地であるとともに、世界的な日用品取引の中心地である。平成23年5月に中国初の県域経済に関する国家戦略である、国際貿易総合改革実験都市に指定されている。これらの現状、実態を視察する。

(4) 上海市

世界有数の世界都市であり、中国の中心都市の一つである。また、市内総生産は中国国内では、北京市をしのぎ、第1位であり、世界有数の経済都市へと成長している。

なお、横浜市と上海市は、昭和48年11月30日に姉妹友好都市提携を締結し、平成25年に40周年を迎える。これらの現状、実態を視察する。

本市中期4か年計画(素案)で掲げられている「横浜版成長戦略」実現に向け、これからの横浜における重要課題である港湾経営及び経済政策を進めていくため、先進4都市の事例についての調査や関係者との意見交換等を行い、本市が取り組むべき施策や、国等への要望内容等を検討していく。

4 視察項目

(1) 香港特別行政区

ア 香港サイエンスパーク

拡張経過・計画、運営について説明聴取。

イ 商船三井香港(現地法人)

経営方法について説明聴取。

(2) 深圳市

ア 塩田港

港勢、港湾設備、拡張経過・計画、運営について説明聴取。

イ 物流園区

運営について説明聴取。

(3) 義烏市

ア 義烏小商品市場

事業計画、運営、規模について説明聴取。

(4) 上海市

ア 上海博覧会有限責任公司

事業計画について説明聴取。